

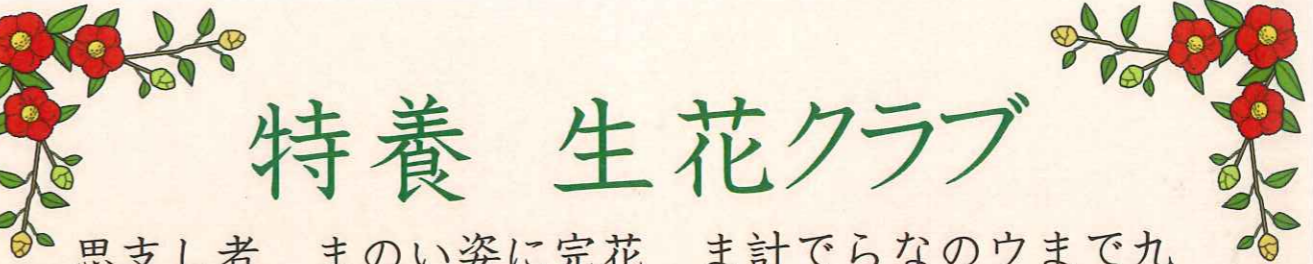
養護お茶会

養護では、屋上でお茶会を開き、抹茶と茶菓子を頂きました。三密を避け、少人数ずつ屋上へ案内させて頂いたのですが、抹茶をたてたところから見て「抹茶を上手にたてて美味しうございました。」と、外の空気も吸えてよかったです。大変喜ばれていました。茶菓子には、お饅頭やどら焼きを提供しました。先に茶菓子を食べて、甘みを残してから抹茶を飲むことで、より一層抹茶が美味しくいただけました。快晴の中、目で見ただけの時間となり、心が安らぐ時間となりました。



特養生花クラブ

特養では、五月一日に二階のフロアで生花クラブを行いました。新型コロナウイルス予防のため、三密にならないうちで、三密に配慮しながら利用者に楽しんでいただくようお願いしました。計画させて頂いた、利用者様が真剣に花を生けられる姿や完成した作品と一緒に笑顔で写真に写る姿を見て、とても良い気分転換になったと思います。これからも、利用者様に安心してご利用していただけるよう、支援して参りたいと思います。



ちとせ新聞

令和2年 7月発行

第140号

千歳園 広報委員会

原爆慰霊碑参拝

七月八日に養護の利用者様と職員で平和公園へ原爆慰霊碑参拝に外出しました。快晴でしたが、暑い一日でした。水分補給をしながら帽子を被って、公園を歩かれました。利用者様は参拝に行かれました。涙を流しながら、平和公園に来るといつも原爆が落ちた日のことを思い出すよ。雨が降ったと光ったよ。職員が話を聞いてくれて、慰霊碑へ参拝して下さることをお喜びです。参拝に行きたい。来年度もぜひ、参拝に行きたい。



デイサービスにも 夏が来ました！



ご利用者の皆様にも一日中マスクを着けて過ごしていただく日々ですが、夏の到来を感じていただけるよう、ひまわりやスイレンの壁飾りを作って飾ったり、すだれを垂らして季節感を演出しています。

また、デイサービス玄関前で栽培中のトマトとミニトマトが青々とした実をつけて「実がいっぱいになったね」「大きくなったね」と話しながら収穫を楽しみにしています。



居宅介護支援事業所より

「他人ごとではない認知症」



2020年現在、認知症の人の数は約600万人、65歳以上の高齢者では約6人に1人という割合です。そして、今後さらに増加すると推定されています。

「認知症になったら終わり」「何も分からなくなる」という認知症に対する悪い認知症観は多くの人の心に潜んでいます。しかし、この悪い認知症観が知らず知らずのうちに認知症の人の心の中にあきらめ、悲観的思考、不安や恐れを生じさせてしまっているのではないのでしょうか。

最近では、認知症の人が自ら声をあげ、発信する機会も増えており、認知症への関心と理解を深め、「本人の意思の尊重」「本人の視点重視」へと支援も変化しつつあります。

認知症は遅かれ早かれ誰もがなり得るものであり、認知症のとらえ方や偏見や固定観念を変えていく事が、今の私たちには求められています。

誰かが側にいて、そして話を聞いてくれる。まずは私たち一人ひとりが認知症の人に寄り添ってみませんか。自分の人生を自分らしく生きていけるような地域づくりへの第一歩です。

苦情結果報告
令和二年 四月～六月
苦情件数 ○件

～正しい手洗いで感染予防～



6月中旬、職員を対象に手洗いの研修を行いました。手洗いチェッカーを使用し洗い残しを確認する「手洗いテスト」のようなものです。勤務中は感染予防のための衛生的手洗いが求められますが、新任職員だけでなく、既存の職員にも生活の中での日常的手洗いの癖を修正してもらうために毎年行っている研修です。

新型コロナウイルス感染症の発生から、正しい手洗い方法については皆様も見聞きすることが増えたと思います。洗い残しになりやすい親指、指の間、指先、手のひらのしわ、手首、爪の間などを意識して洗いましょう。

そして、外出中など、手洗い後に鏡を見てついつい触ってしまう髪や眼鏡、襟元…手洗い後の「無意識」にも気を付けましょう。

医務室より